

新世代移動機用適応アンテナシステムに関する研究開発（富士通株式会社）平成16年度中間評価結果

項目	評価	所見	再評価	再所見
総合所見	A	<p>様々な周波数・方式による適応空間信号処理の実現が望まれており、RF MEMS デバイスの研究開発を基本とする本研究開発の意義と波及効果は大きい。当初の目標にしたがって研究が進められ、有用な成果を得ている。MEMS用コンポーネントである可変キャパシタについては、High Q と駆動電圧の低電圧化に関して、目標の見直しを行っている。目標達成ため研究開発スケジュールをより明確し、推進することが必要である。なお、産学連携研究がさらに有機的に行われ、研究成果により特色がでることを期待したい。</p> <p>本研究開発成果の事業化計画においては、移動体通信機器に必要とされる低消費電力や低挿入損失などの特性を有するRF-MEMS デバイスを中心として、第3世代または第4世代携帯電話機及び（注）などのブロードバンド無線通信機器といった市場に差別化技術を確立することで市場シェアを獲得するという計画であり、妥当である。</p>		

（注）総合所見の公表にあたっては、企業秘密等に配慮しています。